

# ハードウェアインストールサービス サービス仕様書

本サービス仕様書は、契約者(以下「甲」といいます。)と日本電気株式会社(以下「乙」といいます。)が締結したExpress従量課金サービス(以下「本契約」といいます。)に基づき、乙が甲に提供するハードウェアインストールサービス(以下「本サービス」といいます。)の内容について記述したものです。なお、本サービス仕様書と「Express5800従量課金サービス サービス仕様書」の内容に矛盾が生じた場合は、「Express5800従量課金サービス サービス仕様書」の内容が優先して適用されるものとします。

## 1. サービス商品名

■ハードウェアインストールサービス

## 2. サービス内容

### 2. 1 サービス概要

Express従量課金サービス契約書別紙1「サービス提供用機器」で定めるハードウェア製品(以下対象機器といいます。)を対象として、導入展開フェーズに係わる本サービス仕様書で規定するサービスを提供します。

### 2. 2 サービス内容

#### (1) ハードウェアインストールサービス

本サービス仕様書3.2に定めるサービス実施場所を対象機器の開梱、組立、設置、ハードウェア機能確認を行います。

## 3. 本サービスに対する特約事項

### 3. 1 本サービス対象製品

#### (1) 対象機器

本サービス仕様書2.1に定める対象機器とします。

### 3. 2 本サービス共通特約事項

#### (1) サービス実施場所およびサービス実施日

サービス実施場所はExpress従量課金サービス契約書で定める「設置場所」とします。サービス実施日は、甲乙協議の上決定するものとします。

### 3. 3 本サービス個別特約事項

#### (1) ハードウェアインストールサービス

##### ①サービス提供時の障害対応について

サービス提供中に対象機器に障害が発生し、サービス提供続行が不可能となった場合は、甲乙間で別途締結される保守契約に基づいた保守サービスを実施し、その後サービスの提供を再開します。甲乙間で保守契約が締結されない場合は、甲の費用と責任において対象機器の正常稼動が確認された後に、乙はサービスの提供を再開します。

### 3. 4 責任の範囲

#### (1) 本サービスにおける責任の範囲は、本サービスの結果に、乙の責に帰すべき誤り

または本サービス仕様書等との不一致（以下総称して不具合といいます。）があった場合に限られるものとします。乙はサービス実施日後1ヶ月以内に本サービスの結果に不具合がある旨の通知を甲から受領した場合、該当不具合を修正、除去するものとします。なお、甲が当該不具合に起因して損害を被った場合には、甲は、現実には被った通常の直接損害に限り、本サービスの提供価格に相当する対象機器のサーバ本体の合計台数に金10万円を乗じた金額を限度として、その賠償を乙に請求できるものとします。なお、サーバ本体とは、Express従量課金サービス契約書別紙1「サービス提供用機器」に記載された型番が「N8100-」から始まるハードウェア製品とします。ただし、乙は、乙の責に帰することができない事由から生じた損害、乙が予見すべきであったか否かを問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、賠償責任を負わないものとします。

- (2) 本サービスの結果について乙が負う責任は、理由の如何を問わず前項の範囲に限られるものとし、乙は、本サービスが甲に一定の目的を達成することを保証するものではありません。

以上